

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ツクルミ・ナーラ校(奈良市ミ・ナーラ3F)		公表日		2025年 3月 15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	5Sを取り入れ常に空間配置の最適化を行っている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	子どもの特性に応じた配置を心掛けている	特性上配置数を増やしたい日や時間があるが、人員の都合上叶わない日もあり、増員が必要		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		狭い空間を効率よく使えるよう都度最適化を図る		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	5Sを取り入れ常に空間配置の最適化を行っている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	部屋の中で個別対応できる場所を作っている	個室対応がなく、静養室がパーティション仕切りのみになり声を通る。建物の構造上変更が難しい		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎朝の朝礼でその日の療育について子ども別に確認し、前日の振り返りを行っている	PDCAサイクル化のフォーマットなど使用していないため明確化が必要		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年一回評価をいただき反映させている	評価と業務改善の内容を周知する		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	事業所内での意見交換、業務改善は常日頃から行っている	上層部への進言の返報が遅く業務改善が進まない場面がある		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者機関からの外部評価を受けているか周知されていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	ジョブアカデミーなどを用いて法人内研修を日頃から行っている	最近まで新人入社時のオリエンテーションがなかったため情報の統一化がされていない		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		支援プログラムについて周知を徹底する		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		アセスメントについては連絡が取りにくい保護者について対応策が必要		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		職員全員が計画策定について共通理解があるように周知徹底する		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		共有された計画に沿った支援であることを周知徹底する		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	インフォーマルアセスメントによる行動観察を日頃から行いカンファレンスしている	フォーマルなアセスメントは保護者からの情報提供に頼るのみとなっているため情報提供がなされていない場合確認が出来ない		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		こどもの支援に必要な項目が設定されていることを周知徹底する
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		計画作成において個別と集団の組み合わせがどの職員にも分かりやすく書かれているようにする
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		日々の支援記録の徹底、検証、改善に努める
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		定期的なモニタリングから計画の見直しがあることを周知徹底する
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		担当者会議への出席者が誰なのか職員に分かりやすく周知徹底する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		必要都度連携を取っているが体制化には至っていないため、連携体制化の構築を行う
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	4		学校との直接の情報共有は行っておらず、保護者から情報をいただいているため今後は情報共有を行う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		事業グループ内の児発支援とのみ連携が行われているが、外部の児発支援との連携がないため今後構築を行う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		中学卒業後の障害福祉サービス事業所等の利用者がおらず、他放課後等デイサービスへ移行するため提供の実施がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		現在は児童発達支援センターとの連携が行われておらず、今後連携を構築しスーパーバイズなどの機会を設ける
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		現在は地域との交流はなく、今後必要に応じて機会を設けていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	ペアレントトレーニングの保護者企画を行った	保護者企画を行ったが参加希望者がいなかったため、日時や内容などを検討し今後も企画する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		計画の実施について書面で説明の上、確認後に同意の署名をいただいていることを周知徹底する
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2	ペアレントトレーニングの保護者企画やワークショップイベントなどを実施した	保護者参加のワークショップイベントは好評だが、保護者のみのペアレントトレーニングは参加者がいなかったため告知の工夫が必要
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		現在は安全確保が担保されない状況のため地域住民の招待は行っていないが、今後安全確保など課題が解決すれば実施を検討する	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		マニュアルの掲示閲覧を周知徹底し、各訓練の実施を行う
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		BCP策定と避難訓練が行われていることを周知徹底する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		子どもの状況については通所より事前もしくは変化がある都度確認していることを周知徹底する
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		飲食の提供を実施していないため指示書の提供を求めているが、今後必要があれば指示書の提供を求める
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		安全管理の実施が分散化され計画として周知されていないため、今後一体化した計画の作成と周知徹底を行う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		今後一体化された安全計画の作成と周知徹底を行う

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		